

僕は、この夢を



'TRIUMPHANT' The Telegraph
圧倒的！



'THE BEST SHOW YOU'LL EVER SEE' New York Post
あなたはもう、これ以上の作品に出会えないだろう。



'ELECTRIFYING' Mail on Sunday
衝撃的



'THRILLING' Time Out
胸踊る

世界最高のクリエイター陣

音楽 **エルトン・ジョン** × 脚本・歌詞 **リー・ホール** × 演出 **スティーヴン・ダルドリー**

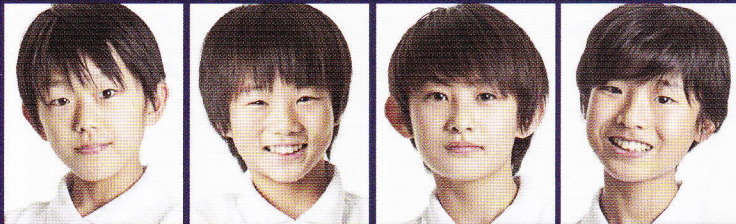
不況に喘ぐ英国北部の炭鉱の町を舞台に、ひとりの少年と彼を取り巻く大人たちの姿を描いた映画「BILLY ELLIOT」(邦題「リトル・ダンサー」)。アカデミー賞ノミネート監督であるスティーヴン・ダルドリーが手掛けたその作品は、世界中の観客を虜にした。『ライオン・キング』『アイダ』などの名作ミュージカルを手掛けた“ポップス界の生ける伝説”サー・エルトン・ジョンは後のインタビューで、「すごく泣いた。泣きすぎて、観終わったあとは立ちあがるのに人の手を借りなければならなかったよ」と語っている。2005年、映画に引き続きリー・ホールが脚本・歌詞、スティーヴン・ダルドリーが演出を担当、そこにエルトン・ジョンが音楽で加わりミュージカル化され、世界中で成功を取めた。

全世界で80以上の演劇賞を獲得。

1000万人以上の観客を魅了し続ける。

主役のビリーはバレエ、タップダンス、アクロバット、歌、芝居のすべてで高い能力が必要な難役。そのため、この作品では世界各地で長期トレーニングと併行したオーディションが行われてきた。ロンドン初演時に数千人の応募者の中から見出された少年は3人。そこからレッスンに1年の歳月をかけて迎えた初日、観客は彼らの圧倒的なパフォーマンスと、作品の持つ巨大なエネルギーに言葉を失くした。2006年英国ローレンス・オリヴィエ賞4部門、ブロードウェイ進出後の2009年には、米国演劇界のアカデミー賞ともいうべきトニー賞で10部門を受賞、主役ビリーを演じた子どもたち3人は、双方の主演男優賞部門で史上初の3人同時受賞を果たしている。

ビリー (クワトロキャスト)



加藤航世

木村咲哉

前田晴翔

未来和樹

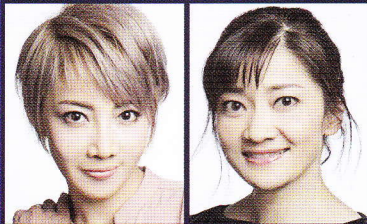
お父さん (ダブルキャスト)



吉田鋼太郎

益岡 徹

ウィルキンソン先生 (ダブルキャスト)



柚希礼音

島田歌穂

おばあちゃん (ダブルキャスト)



久野綾希子

根岸季衣

トニー(兄) (ダブルキャスト)



藤岡正明

中河内雅貴

ジョージ



小林正寛

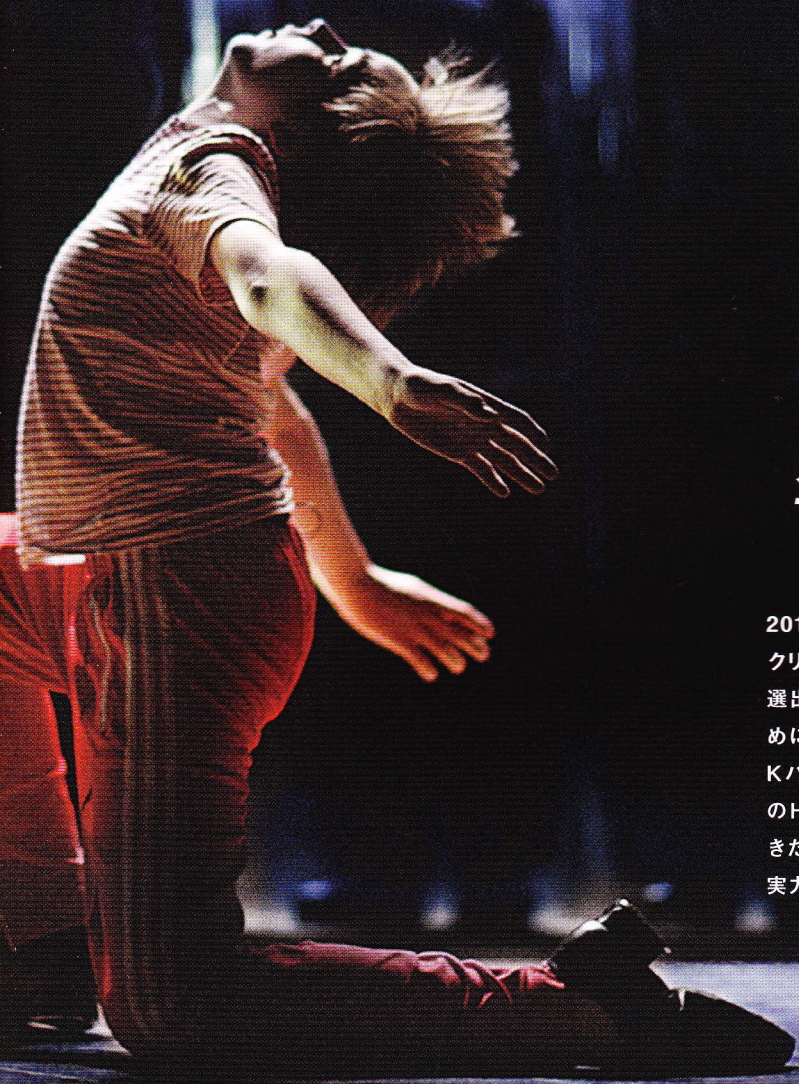
オールダー・ビリー (ダブルキャスト)



栗山 廉 (Kバレエカンパニー)

大貫勇輔

かなえたい



いよいよ日本初演！
全役がオーディションで選ばれた
最高のキャスト！

2015年11月、日本公演に向けてピリー役の募集がスタート。翌年4月には海外よりクリエイティブ・スタッフが来日し、応募総数1346名の中から10名のピリー候補が選出されてレッスン形式のオーディションが開始された。ピリーを育て上げるために集まったコーチ陣は、バレエに世界的バレエダンサー熊川哲也氏が主宰するKバレエスクール、タップに映画「座頭市」などで知られるHIDEBOH氏プロデュースのHiguchi Dance Studio、そしてアクロバットには長年に亘って体操指導に携わってきたコナミススポーツクラブといった錚々たる顔触れ。全役がオーディションで選ばれた実力派大人キャストとあわせ、遂に日本初演の幕が開く！



森山大輔 冢塚敦子 大塚たかし 加賀谷真聡 北村毅 佐々木誠 高橋卓士 辰巳智秋 橋本好弘 羽鳥翔太 原慎一郎 丸山泰右 横沢健司



木村晶子 小島亜莉沙 竹内晶美 三木麻衣子 秋山綾香 井上花梨 出口稚子 古賀瑠 城野立樹 持田唯帆 山口れん



マイケル(クワトロキャスト)



デビュー(トリプルキャスト)

香好 佐々木琴花 夏川あさひ



トールボーイ(トリプルキャスト)

小清風 笹川幹太 山城力



スモールボーイ(トリプルキャスト)

岡野凜音 菊井凜人 桜井宙



バレエガールズ(ダブルキャスト)

遠藤美緒 大久保妃織 小野梓 久保井まい子 佐々木佳音 高島美野 近貞月乃 並木月渚 新里藍那 堀越友里愛

キャスト
スケジュールは
こちら



バレエとの出会いが、少年の運命を変える。

1984年の英国、炭鉱不況に喘ぐ北部の町ダラムでは、労働者たちの中で時のサッチャー政権に対する不満が高まり、不穏な空気が流れていた。数年前に母を亡くしたピリーは、炭鉱で働く父と兄、祖母と先行きの見えない毎日を送っていたが、偶然彼に可能性を見出したウィルキンソン先生の勧めにより、戸惑いながらも名門ロイヤル・バレエ・スクールの受験を目指して歩み始めるようになる。息子を強い男に育てたいと願っていた父や兄は強く反対したが、11歳の少年の姿は、いつしか周囲の人々の心に変化を与え…